

## 海外講演報告

報告者：池田玲子（東京海洋大学）

1.	日程	2013年 12月7日
2.	地域（概要含む）	韓国 ソウル（建国大学校 師範大学 教育科学館）
3.	担当者（人数・役割）	池田玲子（東京海洋大学）
4.	海外講演の形態 （講演）	講演 14：30～15：10 池田玲子 講演「日本語教育のピア・ラーニング －創造的学びの理論と授業デザインの実際」
5.	主催 （招聘）	韓国日語教育学会 2013年度 第24回 国際学術大会
6.	テーマ（タイトル）	「日本語教育における授業の実践と研究」
7.	内容の概要	0. 用語の説明：ピア、協働、協働学習 1. ピア・ラーニングとは：協働の学習観の学習活動 2. 協働学習の背景 3. 定義と理論 4. 日本語教育のピア・ラーニング 5. ピア・レスポンスの場合 6. 授業デザインのポイント
8.	参加者 （人数・背景・声など）	約110名 日本人 35名 韓国人 55名 大学院生20名
9.	担当者の内省	韓国ソウルでの講演はこれまで、池田玲子、金孝卿、トンプソン美恵子、房賢嬉が行ってきた。本講演に先立つこと11月に金孝卿が韓国語による講演とワークショップを行っていた。そのときは韓国人の中等教育の日本語教師が主な対象者だった。今回は、日本語での講演だったため、大学で教えている日本人教師の参加が目立った。池田からのメッセージとして強調したのは、日本人教師と韓国人教師の協働により、ピア・ラーニングの実践研究を進めてほしいというところだった。参加者は非常に熱心に聞いてくださった。翌日のワークショップへの参加までとはいかないまでも、協働学習やピア・ラーニン

		グという名前を始めて知り、今後、少しでも興味関心を持ってもらえることを期待したい。ソウル支部の活動を知らせた部分では、手ごたえを感じた。
10.	次回への課題	講演のみだったので、具体的な内容は盛り込めなかったが、それにしても実例をもっと効果的に紹介するなど、ピア・ラーニングを始めて聞く参加者への分かりやすい説明がもうひと工夫必要だと思った。同日、台湾の研究者の講演にあったように、ビデオ映像などを各所に入れるなどの工夫を次回から試みたい。
	撮影記録	